令和４年度 港湾空港研究セミナーin 関東の実施報告

1. 実施概要

将来の担い手である大学・高専などの学生に、港湾・空港分野の業務の魅力を伝えるため、関東地方整備局、港湾空港技術研究所、当協会を含む業界団体が協働して、「港湾空港研究セミナー」と題したイベントを令和４年１１月３０日に行った。

同イベントには、対面とＷｅｂ参加併せて大学・高専など約４０名の参加があり、港湾・空港分野で活躍中の官民の技術系職員や研究者が、港湾・空港インフラの調査・計画・設計・整備・研究などのそれぞれのフェーズにおける最新の動向や業務概要、直面する課題への取り組み、仕事のやりがい、キャリアパス等について説明し、その後意見交換を行った。

○ 開催日時：令和４年１１月３０日(水) １７～２１時
○ 会場：関東地方整備局会議室＆Ｗｅｂ(横浜第二合同庁舎)
○ 対象者：港湾・空港分野の技術系業務に関心のある方(高校、大学、大学院、社会人等)を公募.
○ 共催：(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
(一社) 日本埋立浚渫協会 関東支部、関東港湾空港建設協会連合会
(一社) 海洋調査協会 関東支部、(一社) 港湾技術コンサルタンツ協会

2. プログラム

時 間	題　　目	所　　属	発表者
17:00 ～ 17:15	『港湾・空港のインフラ整備を 取り巻く情勢や今後の展望』	関東地方整備局港湾空港部 港湾空港企画官	清水　崇
17:15 ～ 17:30	『仕事場＝海×空』 関東地方整備局港湾空港部	関東地方整備局港湾空港部 港湾事業企画課長 クルーズ振興・物流企画室	越智　紀昭 髙橋　和真
17:30 ～ 17:45	『港湾・空港に関する研究業務 事例：港湾空港技術研究所』 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所　　研究統括監	吉見　昌宏
17:45 ～ 18:00	『「海」の調査のご紹介』	(一社) 海洋調査協会 関東支部幹事	長井　大
18:00 ～ 18:15	『”港湾・海岸整備の頼れる パートナー“をめざして！』	(一社) 港湾技術コンサルタンツ協会 関東地方幹事 会員企業(いであ㈱)　若手技師	菅原　広幸 ウィン ティリ モウ
18:15 ～ 18:30	『海とともに』	(一社) 日本埋立浚渫協会 関東支部　　技術委員長	村田　浩隆
18:30 ～ 19:00	質疑応答		
19:00以降	来場者ブース見学・個別質疑応答		

○ 当日の受講者：対面参加２３名、Ｗｅｂ参加１４名　　合計３７名
(内訳：高校8名、高専１名、大学１５名、大学院１０名、社会人３名)
○ 報道関係：新聞社１社（港湾新聞社）
○ （一社）港湾技術コンサルタンツ協会からの参加者
：細川泰廣理事、菊池信夫・柿崎勉・菅原広幸（関東地方幹事）
中村智絵（日本港湾コンサルタント)、奥山賀子（事務局）

3. まとめ

○ 受講者からは、「学生のうちに学んでおくべきことは」「港湾空港分野を仕事として選択した理由は」「キャリアパスや仕事のやり方は」「残業時間は」等、活発な質問が多数あった。また「セミナーを聴講することで港湾空港に興味を持った。」との発言があった。
発表後、各ブースにおいても熱心な質疑応答が交わされ、予定時刻を過ぎるなど盛況のうちに閉幕した。
○ セミナー後のアンケートには、「港湾空港は重要なインフラであることを認識できた。」「スケールが大きく現場に行ってみたい。」「様々な分野の技術者が協力して大規模なプロジェクトを達成していることが理解できた。」など前向きに評価する感想が多数あった。
○ 本セミナーは今回初めての試みであるが、開催時期等一部内容を見直し、今後も継続開催する予定である。

文責：関東地方幹事・菅原広幸（いであ(株)）

〇セミナーの状況

受 講 風 景

発表風景（左手発表者：いであウィン技師）

個別質疑応答（右手説明者：エコー柿崎部長）